

「核内封入体病(NIID)のNOTCH2NLC 5' UTR GGC リピート伸長例における封入体の物性解析」に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

核内封入体病(NIID)のNOTCH2NLC 5' UTR GGC リピート伸長例における封入体の物性解析

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001 年 7 月～2022 年 4 月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断により核内封入体病と診断された方および顕著な神経疾患なしと診断された方。

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2025 年 3 月まで

●研究の目的と概要

NOTCH2NLC 遺伝子の GGC リピート伸長変異をもつ核内封入体病(NIID)症例の脳組織を用いて、この遺伝子から発現するタンパク質と封入体の性質を調べることで、封入体の形成機序を明らかにします。

●研究の方法

私達が新たに作出した特異抗体を用いて脳組織のパラフィン切片を染色することにより、免疫組織学的に検討いたします。

●研究に使用する試料・情報

核内封入体病(NIID)のNOTCH2NLC 遺伝子 GGC リピート伸長例と脳病理のほぼ無い対照者、各 2 名の脳パラフィン包埋切片、凍結脳
それに付随する臨床情報、病情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤 祐子
大阪大学大学院医学系研究科 精神医学 森 康治

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）